

## 全校朝会「自分ができるところから」1/22

今、3年生の防災レンジャーと代表委員会の皆さんから、能登半島で震災に遭われた方々のために、自分たちも何かできないだろうかと考え、義援金活動という提案がありました。是非みんなで協力できたらいいと思います。お願いします。

校長先生からは、1年前にもご紹介した「ハチドリのみとしく」という絵本のお話をします。世界で最も小さい鳥です。

森が燃えていました

森の生きものたちは われ先にと 逃げていきました

でも クリキンディという名のハチドリだけは いったりきたり

口ばしで 水のしずくを 一滴ずつ 運んでは

火の上に 落としていきます

動物たちがそれを見て

「そんなことをして いったい何になるんだ」といって笑います

クリキンディは こう答えました

「私は 私にできることを しているだけ」

こんなに小さな鳥ですから、くちばしで運べる水は、ごくわずか一滴です。小さな水のしずくを、何百、何千、何万回、運べば火が消えるでしょうか。気が遠くなります。

ダメかもしれない。それでも、クリキンディは「私は、私にできることをしているだけ」と答えるのです。

クリキンディは「自分にできることなんか、何も無い」とあきらめたり、「自分がすることではない」とか、「誰かが、何とかしてくれないかな」ではなく、「私にも、できることがある」と考え、行動しているのです。

私たちは、困ったことがあまりにも大きい時、何もできないかもとか、ダメかもしれないとか思いがちです。でも、そんな時は、このお話を思い出して下さい。

義援金活動は、このクリキンディと同じです。

誰かではなく、自分ができること考え、自分ができることに取り組むことだと思います。是非、皆さんでできることをやってほしいと思います。

さて、燃えていた森はその後、どうなったのでしょうか。物語の続きを描くのは、みなさんです。

世界は わたしたち  
ひとりひとりからできている  
だから あなたや 私が  
ちょっと変われば  
世界はやっぱり  
ほんのちょっと変わっていく

